

展示会「オランダの金の筆と銀の筆—子どもの本の世界」

開催のお知らせ

国立国会図書館国際子ども図書館では、
3月6日（火）から7月15日（日）まで、
展示会「オランダの金の筆と銀の筆—子どもの本の世界」を開催します。

オランダは、子どもの本の賞の授与式や音読コンテストが国内の一大イベントとなるほど、子どもの本に対する社会的関心が高い国です。詩の本、ノンフィクション、イラストなどの賞、子どもが選ぶ賞、専門家が選ぶ賞といった多様な賞がありますが、この展示会では、オランダで最も権威あるとされる子どもの本の賞である Gouden Griffel（金の石筆賞）と Gouden Penseel（金の絵筆賞）に加え、さまざまな賞の受賞作と受賞作家を通して、オランダの子どもの本の世界をご紹介します。

日本においてオランダの子どもの本というと、ディック・ブルーナの〈うさこちゃん〉シリーズが有名ですが、それ以外にも、国際アンデルセン賞受賞作家であり、オランダの「子どもの本の女王」とも呼ばれる、アニー・M.G.シュミットがお隣同士の子どものたちの楽しい日常を描く『イップとヤネケ』、同じく国際アンデルセン賞を受賞した絵本作家マックス・ベルジュイスが、あひるを好きになったかえるを通して「好き」になるとはどのようなことかを子どもたちに伝える『かえるくんどうしたの』をはじめとする、素晴らしい受賞作の数々を展示します。多くの方々の御来場をお待ちしております。



【お問合せ先】 国立国会図書館 国際子ども図書館 企画協力課広報係 03-3827-2041(直通)

【開催概要】

日 時：前期 3月6日(火)～5月15日(火)
後期 5月17日(木)～7月15日(日)
前期は石筆賞・絵筆賞の1999年までの受賞作、
後期は2000年以降の受賞作を主に展示します。

開館時間：9時30分～17時

休館日：毎週月曜日、毎月第三水曜日、
国民の祝日・休日(5月5日は開館)

場 所：国際子ども図書館レンガ棟3階 本のミュージアム
(東京都台東区上野公園12-49)

入 場：無料

ホームページ：<http://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2018-01.html>

金の石筆賞と金の絵筆賞とは？

前年にオランダ語圏で出版された、およそ11歳までを対象とする、翻訳作品を含むオランダ語の作品の中から銀の石筆賞・絵筆賞が数点選ばれ、その中から金の石筆賞・絵筆賞が選出されます。銀の石筆賞・絵筆賞の受賞作品にはオランダ国内だけでなく、海外の作家によるものも含まれ、過去には日本の作品も受賞しています。

また、展示会では専門家の視点から選ばれた作品だけでなく、子ども審査団が選んだ作品もご覧いただけます。

【展示資料一例】

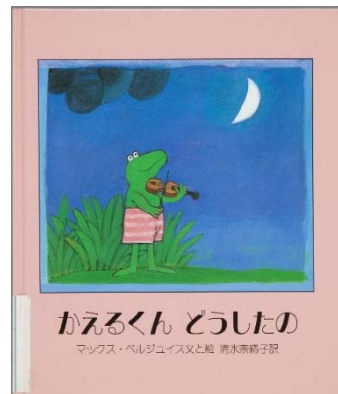
展示会では国際子ども図書館のオランダ語の本とその翻訳書から、400点以上を紹介します。



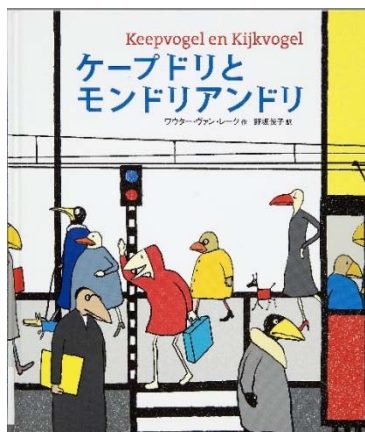
1



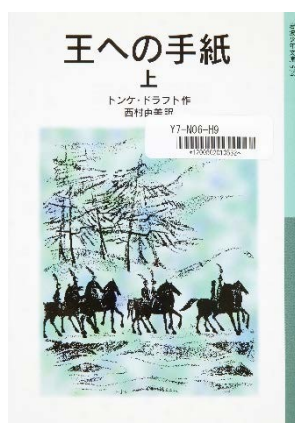
2



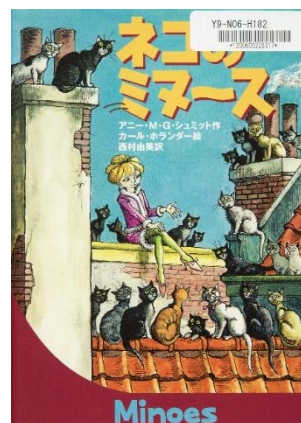
3



4



5



6



7

こちらに掲載した画像は、展示会を広報する
目的であればご提供できます。

1. 『イップとヤネケ』 アニー・M.G.シュミット 作 フィーブ・ヴェステンドルフ 絵 西村由美 訳 後藤葉子(QUESTO) 装丁 岩波書店 2004
2. 『うさこちゃんのてんと』 ディック・ブルーナ ぶん・え まつおかきょうこ やく 福音館書店 2008
3. 『かえるくん どうしたの』 マックス・ベルジュイス 文と絵 清水奈緒子 訳 セーラー出版 1990
4. 『ケープドリとモンドリアンドリ』 ワウター・ヴァン・レーク 作 野坂悦子 訳 中嶋香織 装丁・本文デザイン 朔北社 2012
5. 『王への手紙 (上)』 トンケ・ドラフト 作 西村由美 訳 岩波書店 2005
6. 『ネコのミヌース』 アニー・M.G.シュミット 作 西村由美 訳 カール・ホランダー 絵 鳥井和昌 装丁 前田浩志・横濱順美 フォーマット 徳間書店 2000
7. 『マウスマンション：サムとユリア』 カリーナ・スカープマン 構想・制作・文 トン・パウワー 写真 内藤里永子 訳 出原速夫 装丁 メディアファクトリー 2011